

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	アスザック株式会社					
代表者名	氏名	久保正直	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上高井郡高山村大字中山981					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	21 窯業・土石製品製造業				
主たる事業の概要	コンクリート二次製品製造販売 ファインセラミック製品製造販売他					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,248	3,151	3,221	3,566	3,662
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,458	6,264	6,531	7,140	7,314
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	48		48	49	49
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	355				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

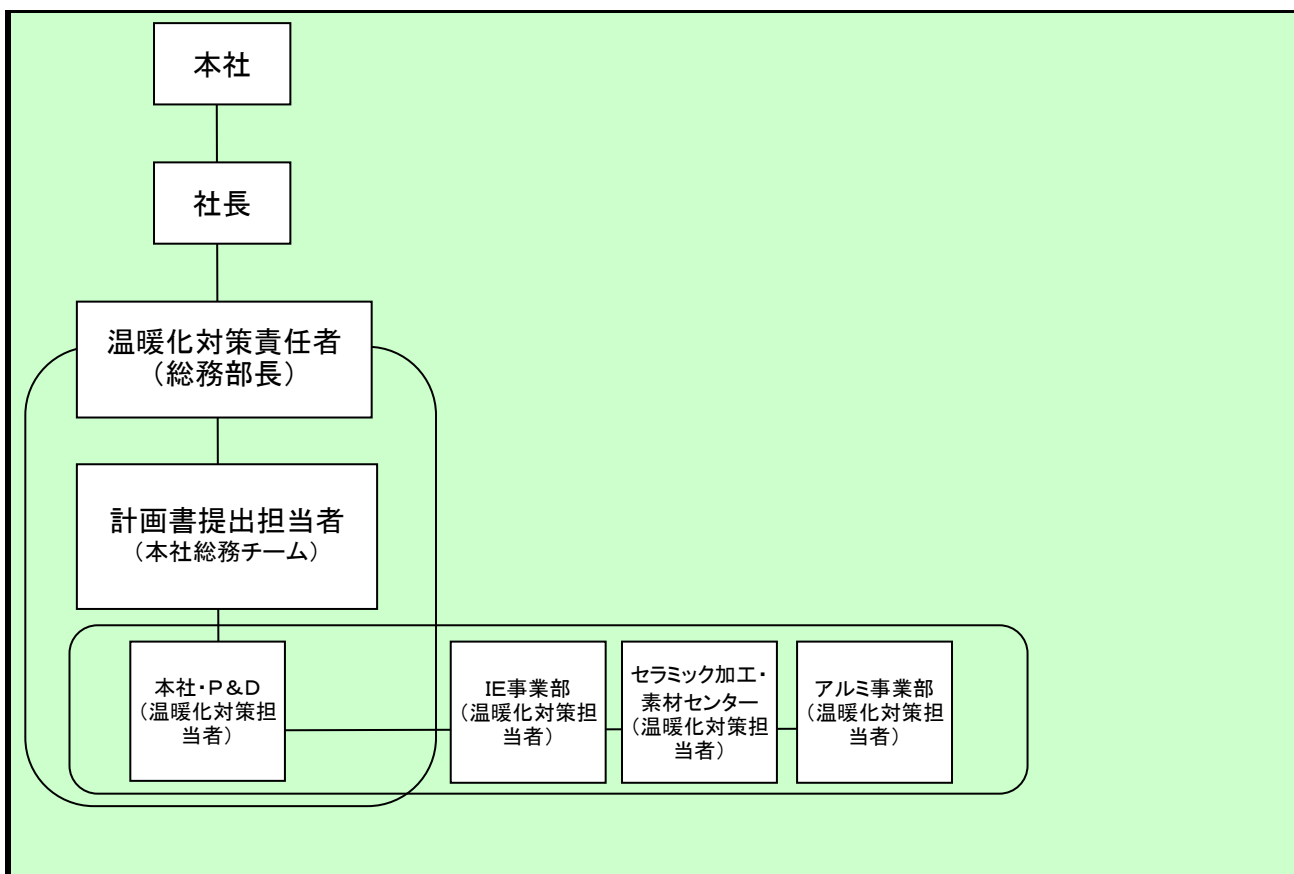
<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社総務室にファイリング。閲覧可。9時から16時 TEL026-245-1000
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

EMSによる目標管理、進捗管理を実施

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境会議 月1回開催
ISO推進委員会 月1回開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,458	t-CO ₂	生産高	26.27	単位	億円
2019年度	調整後排出量	6,458	t-CO ₂	基準原単位	245.83	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量	6,264	t-CO ₂	目標原単位	238.46	t-CO ₂ /	億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	設備の更新によりエネルギーの削減を図り3%抑制目標を達成する						
第一年度	排出量	6,531	t-CO ₂	生産高	31.73	単位	億円
	削減率	-1.14	%	原単位	205.83	t-CO ₂ /	億円
2020年度	調整後排出量	6,531	t-CO ₂	原単位削減率	16.27	%	
	削減率	-1.14	%				
排出量等の増減理由	コロナ禍ではあったが、セラミックの需要増、災害対策としてのコンクリート二次製品の受注が好調であり、生産高が大幅に伸びたため、原単位当たりの削減率が約16%と大幅に削減した。						
第二年度	排出量	7,140	t-CO ₂	生産高	39.88	単位	億円
	削減率	-10.57	%	原単位	179.04	t-CO ₂ /	億円
2021年度	調整後排出量	7,140	t-CO ₂	原単位削減率	27.16	%	
	削減率	-10.57	%				
排出量等の増減理由	半導体製造装置関連の受注が好調で生産高が126%増となり、エネルギー使用量の効率が一気に改善しました。また2月より3棟への太陽光パネルの設置（自家消費）を行い、雪の解けた3月から少しではありますが電気購入量が減少しました。						
第三年度	排出量	7,314	t-CO ₂	生産高	39.54	単位	億円
	削減率	-13.26	t-CO ₂	原単位	184.98	t-CO ₂ /	億円
2022年度	調整後排出量	7,314	t-CO ₂	原単位削減率	24.75	%	
	削減率	-13.26	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	セラミック事業部においては、稼働が停滞したことにより、設備使用効率の悪化が改善活動を上回ってしまいましたが、コンクリート事業部では、再生可能エネルギー使用により削減効果を引き出したことで、概ね、前年並みの削減率は維持出来た。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	355	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360705	コンプレッサーの保全管理 空 気漏れ修理	2020～ 2022	12.2		
2	エネ起	360701	ポンプの運転管理 開止弁操作 法	2020～ 2021	14.3		
3	エネ起	320301	熱利用設備に関わる断熱の保全 管理	2020～ 2021	19.3		
4	エネ起	170303	太陽光発電装置の設置			2021～ 2022	260
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光パネル	kW				300	430

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満					1	2,876	1	2,957
1,500k1未満	8	6,458	8	6,531	7	4,264	7	4,357
合計	8	6,458	8	6,531	8	7,140	8	7,314

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	20	24	28	28
合計	20	24	28	28
自動車総数	48	48	49	49
次世代車導入割合	41.7	50	57.1	57.1

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	30台ほど自転車を購入し近隣アパートに常備。自転車での通勤をお願いしている
来客者の交通対策	ZOOM等によるWEB商談を推奨している
物流の合理化	配車中継地点の変更による、一車あたりの移動距離を削減している。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2021
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		平成11年
	名称	ISO14001 ISO9001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	廃棄物の排出量削減		2019年度から

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度太陽光パネル設置（会社全体の約2%CO₂削減効果）2工場と1事務所に実施 ・2021年7月～長野県SDGs推進企業登録された ・環境配慮型製品開発への取り組み ・エコバックを作成、社員に配布 ・毎月グループ全体の環境会議開催 ・廃棄物の排出量削減 ・2022年1工場屋根に太陽光設備設置実施
